

受信料体系の課題に関する今後の検討スケジュールの概要

	平成19年度	平成20年度		平成21年度以降
	後半	前半	後半	
契約対象数の推計	<ul style="list-style-type: none"> ○住民基本台帳に基づく推計方法の検討 ○テレビ故障・別宅等の推計プロセスの点検 ○法人・事業所契約実態調査の分析 ・外部専門家の意見聴取も検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討結果を踏まえた世帯契約率(19年度)の公表 ○事業所契約率(19年度)の公表 <ul style="list-style-type: none"> ・外部調査機関との調整のうえ可能な範囲の推計プロセスの公表も検討 ○受信料関係のホームページの刷新 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性を高めるために有効な情報を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じ、部分調査の実施、または定期調査の前倒し実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施の際は外部専門家のアドバイスも踏まえ質問項目等の見直しを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年国勢調査、平成23年事業所・企業統計調査にあわせ、定期調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施の際は外部専門家のアドバイスも踏まえ質問項目等の見直しを行う
受信料体系の課題関連	<ul style="list-style-type: none"> ○視聴者からの意見募集を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「訪問集金の廃止」「事業所割引の導入」「家族割引の拡大」について(11月15日～12月6日) ・「障害者の方に対する受信料免除の適用範囲拡大」について(12月6日～20日) ○意見募集の結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○新経営計画策定にあたっての受信料体系に関する意見募集／世論調査の実施 ○意見募集等の結果の公表 		<ul style="list-style-type: none"> ○21年度以降も、視聴者への影響が大きい受信料体系に関する見直しにあたっては、基本的に意見募集を実施
衛星受信料体系の課題関連	<ul style="list-style-type: none"> ○負担金の原則が維持され、対象者を誤りなく把握し、不正利用を確実に防止できる具体的方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入の可否を判断 		